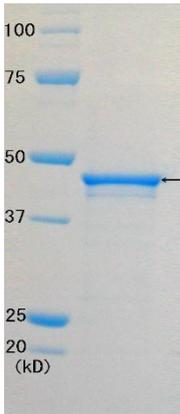


Rad52 タンパク質 (ヒト)

商品コード	10-003 10-004
容量	20 µg 100 µg
保存	-80°C. 凍結融解を避ける
製品説明	本品は大腸菌で組換え体タンパク質として発現させて、高度に精製したヒト Rad52 タンパク質で、Tag は切除してある (図 1)。
濃度	1.0 mg/ml
バッファー	20 mM Hepes-KOH, 0.2 M KCl, 0.5 mM EDTA, 1 mM DTT, 10 % Glycerol
純度	SDS-PAGE による解析で 90%以上の純度 (図 1)
アプリケーション	1. ヒトを含む高等動物での相同組換えの研究 2. 免疫沈降実験によって、Rad52 タンパク質と種々のタンパク質との相互作用が同定出来る 3. ウェスタンブロット法等で Rad52 抗原のコントロールとして使える
背景	ヒトの Rad52 タンパク質 (分子量 46,169) は酵母の Rec52 タンパク質の機能的及び構造的ホモログであって、相同的組換え及び組換え修復において重要な役割を果たし、相補的な単鎖 DNA をアニールする反応を促進する機能をもっている (文献 1)。 Rad52 は Rad51, Dmc1, RPA などと複合体を形成して、組換え反応に関与している。 ヒト Rad52 タンパク質 は細胞を X 線照射すると c-Abl チロシンキナーゼによって Tyr104 がリン酸化されて、核でフォーカスを形成するようになる (文献 2)。
画像	 <p>図 1. 精製したヒト Rad52 タンパク質の SDS-PAGE による解析 矢印が Rad52 タンパク質を示す。下の薄いバンドは分解産物と考えられる。</p>
データリンク	UniProtKB P43351 (RAD52_HUMAN)
文献	この製品は文献 3 で使用されている。 1. Friedberg EC <i>et al</i> <i>DNA Repair and Mutagenesis</i> 2 nd ed., ASM Press (2006) 2. Kitao H & Yuan Z M "Regulation of ionizing radiation-induced Rad52 nuclear foci formation by c-Abl-mediated phosphorylation." <i>J Biol Chem</i> 277 :48944-48948 (2002) PMID: 12379650 3. Kagawa W <i>et al</i> "Homologous pairing promoted by the human Rad52 protein." <i>J Biol Chem</i> 276: 35201-35208 (2001) PMID: 11454867
関連製品	10-001 Rad51 (human) protein 70-001 Anti-Rad51 (human) antibody, rabbit serum 70-005 AntiRad51 (human) antibody, chicken polyclonal (IgY)
※本製品は研究用です。診断および軍事目的に使用することはできません。	